

## 平成30年第12回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 平成30年12月19日（水）  
 開 会 15時00分  
 閉 会 16時50分  
 場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室  
 出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員  
 谷尻圭子教育委員 松原律子教育委員 塔村俊介教育長  
 委員会事務局 堀谷智樹教育魅力課長 永瀬克己結婚・子育て応援課長  
 （書記）山田

塔村教育長

（挨拶）

- ・小中学校へのエアコン設置について（国からの内示は、普通教室、図書室のみ。ランチルーム来年度以降検討）
- ・学校再編方針案について（今回は概要説明。1月から3月で議論いただく予定）

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※議事録署名委員 福田委員

《議事》

①奥出雲町立小学校再編方針（素案）について

資料「奥出雲町立小学校再編方針（素案）」により説明

塔村教育長

P1 2009年のところで、1月には奥出雲町学校再編基本計画検討委員会から「学校の適正配置は、地域関係者、保護者の意見を尊重しながら、学校・地域・行政が連携し、一体となって進めていく必要がある。このために、学校別に個々の事例ごとに具体的な方策を検討し、今後の学校のあり方や、統廃合時におけるその跡地利用も含めて、関係者等の理解を得て統廃合の対象校の再配置について、その具現化に向けて実施計画を策定し進めていくことが必要である。」との答申があり、8月には「児童が健やかに育まれる教育環境を維持するため、全校児童数15名以下の極小規模校は、早急に学校再編をする必要がある。また、複式学級のある小規模校についても、今後の児童数の減少や社会情勢の変化などにより、望ましい教育環境を確保するために、学校の再編をする必要がある。」と町長に報告。これが基本とする。

P 2 町全体の学校の概況。2006年度と2018年度を比較すると、児童生徒数は減少しているが学級数はあまり減少しておらず、1学級あたりの児童生徒数は減少している状況。

P 3 県内同規模町の状況。邑南町は大きく減っていない状況で、隠岐の島町は児童生徒数は減っていますが学校数・学級数が減っており、1クラスあたりの児童数は増えている状況。

P 4 学校別の児童生徒数の変化。

P 5 今後10年の児童数。昨年の出生数は62人、三成・横田は今後あまり減らないと思われる。他校区は資料のとおり。

P 6 保護者アンケート結果。その中で核となる部分をピックアップしている。1学年あたりの人数は20人程度で、将来的には複式学級解消、2校程度に統合との意見が多い。

P 7 方針の必要性。2009年以降、具体的な方針を示していなかったこと、また、今後の児童数のさらなる減少に対応する方針を示す必要があることなどから、方針の策定が必要であるとする。

P 8 学校再編をめぐる背景として、国の方針、県の方針を掲載。国の方針（要約）は、通学距離を優先との考えから、通学時間等を考えながら、ある程度集団で学べるようにするという方針に変わってきている。

P 9 町内の学校の課題。布勢、阿井、馬木の3小学校については単式、複式を繰り返す学級がある。9ページの後段からはメリット・デメリットを記載。

P 1 2 複式学級における学習指導について。今までは複式学級のメリットも言われてきましたが、奥出雲町では単・複を繰り返す学級が多くなっている状況。

P 1 4 学校再編の目的。

1は、奥出雲町の目指す学校像。

(1) で文部科学省は1学年2学級以上が望ましいとしているが、奥出雲町では非現実的。保護者アンケートの結果もふまえ、複式解消、20人規模を町としての適正規模とさせていただきたい。

(3) 適正規模校になると、例えば8学級になると1人専科という加配がつき、音楽とか美術とかの教員が配置される。

2は、奥出雲町の目指す学校教育。

教育の魅力化にあたっては、未来を切り開く力を持った奥出雲町の将来を担う子

	<p>供像を、国の方針である、確かな学力、健やかな体、豊かな心を持った子供というのはもとより、奥出雲町で育ったことを誇りに、奥出雲への思いを持ち続ける子を育むために、一人ひとりを大切にする教育、一人一人の生きる力を育む教育の推進が不可欠と考える。</p> <p>3は、再編による教育上の効果。</p> <p>目指すところとつながりますが、(1)から(5)のようなことが可能になると考えている。</p> <p>P15 4は、再編にあたり配慮すべき事項。(1)から(4)のことについて配慮して取り組む。</p> <p>P16 再編実施方針。</p> <p>1の再編の対象とする学校については、奥出雲町内のすべての小学校を対象とする。</p> <p>2の再編の具体的方針としては、三成小、横田小の2校に再編し、三成小は2021年開校予定の仁多中学校隣接地の新三成小学校を想定。再編後の学校については、地元説明、協議や再編準備に必要な期間をとるため、3年後の2022年の4月の開校とする。</p> <p>P17 具体的方針により再編した場合の児童数推計。仁多中学校区小学校の2025年の3年生は1クラスになり以後1クラスとなりますが、ほかの学年は2クラスで推移する見込み。横田中学校区小学校の児童数減少が著しいが、2023年に1年生のクラスは2クラスで推移。他の学年は1クラスで推移。横田中学校区小学校の児童数の減少が著しい。</p>
谷尻委員	<p>・(1学年)35人で2クラスは可能か。</p>
塔村教育長	<p>・それは難しい。また、35人の中には、特別支援学級に1人か2人入ることも想定される。</p>
塔村教育長	<p>P18 学校再編についての基本的手順。</p> <p>(1) 地区別協議会、再編準備委員会の設置は、地域にとっても重要な課題。集約をしながら取りまとめ、方向性が定まった場合、発展的に再編準備委員会に移行して具体的な協議を行う。</p> <p>(2) 保護者の意向尊重についてですが、地域の意見も大事ですが、保護者の意見は特に尊重したいと考える。</p> <p>(3) 再編に向けてのスケジュールは、2019年度は、再編についての各地区での保護者・住民説明会、地区別協議会の設置、地区別協議会での議論・協議を行い、2020年度当初は引き続き、地区別協議会での議論・協議を行い、7月には再編への議論を締め切りたい。ここを目途にすすめていきたいと考えている。</p> <p>2021年度は、再編準備委員会での協議、統合後の単式学級に向け、複式の教育</p>

	<p>課程解消などへの教職員配置、スムーズな移行に向け、学校間の協議、再編後の校舎、備品等の扱いについての協議などを行い、2022年の4月に再編後の学校の開校としている。ただし、高尾小学校については1年早く、新三成小学校の開校に合わせた統合としたいと考えている。</p> <p>P20からは各学校の状況。保護者アンケートについても、今回、はじめて各学校に分けて掲載。</p> <p>P30は中学校について。仁多中は横ばいですが、横田中の生徒数の減少が著しい。横田中学校は2023年の1年生から1クラスになる。</p> <p>P31は中学校の再編について。前回の学校再編委員会では、中学校の再編についてはあまり考えられていなかった。今回は、本当にどうすべきかということを考え、検討していきたい。私としては、2025年までのところで何らかの手を打ちたいと考えている。</p>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園も考える時期がきていると思う。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートをするまでは、中学校についてあまり考えていなかった。保護者アンケートを見ると、部活動の問題などあり、考えざるをえないという思い。</li> </ul> <p>P30 仁多はこうしてみるとあまり変わらないようだが、2028年以降はぐっと減ってくると見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的には（学校を）残す、残さないについては、地域と保護者の意見を聞いて、強制的ではなく、今回の素案をベースにすすめていきたい。</li> <li>・横田小については、そんなに大きくする必要はないのではないかと考えている。</li> <li>・新三成小については、12学級普通教室が入る想定で設計には入っている。</li> </ul>
荒金委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P6の保護者アンケートの下の円グラフ、2校程度に統合すべきが37.8%で、各校のところの円グラフをみると20%程度。これは集計のあやか。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その点については、再度確認をする。</li> </ul>
荒金委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（保護者）皆さんの意見は、当面状況をみながらというのが（多く）ある。それを含んで、ていねいな説明をもっとしてすすめていかないとといけない。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者もこういうデータはみたことがないので、情報提供すれば「何とかせんといけん」という思いが強くなるのでは。</li> <li>・町はアピールするのが下手。講演にしてもコンサートにしてもいいので、もっと</li> </ul>

	<p>声掛けしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の話もサラッとお知らせするのでなく、重要な問題なので皆さんにきてほしいというアピールをしないとイケない。</li> <li>・回答はホームページでします、なんてことをしないこと。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見、承知しました。</li> <li>・阿井、馬木、布勢はどうするのかという考えもあったが、最初から論から外すのはどうかということあり一緒に考えたい。</li> <li>・地域により温度差もあるかと思うが、各地域の意見も聞いてやっていきたい。横田地区を2校にする場合、鳥上と横田は横田小に統合はできるが、では八川小と馬木小ならどっちに統合するのか、八川小に統合するという話が馬木のほうで通るとは思えない。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬木は八川と一緒にするのなら、三成にでると思う。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合するとバス通学になるので、通学時間は短くなる。ただ、現状で下阿井とか、バスのないところについてどうするかの問題はある。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが育つようにしていかなければいけない。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少なくとも選択の余地は残しておきたい。現状では、住所を移すとか校区外とかしかない。年々、地域の意見も変わってきている。危機感を持っている鳥上の方の意見は変わってきているなど感じる。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の意見でなく保護者の意見が大事。これから子どもをだす親の意見を尊重して。学校がなくなると地域がさびれるというような意見は、これから社会教育でも取り組んでいかなければ。公民館をどうするのかとか、小さな拠点づくりはどうするのかとかそういう話とうまく連携をして話を進めていかなければいけない。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀嵩小、八川小の（改築）批判は受けながら、進めていきたい。それがネックになって、学校を残すのはおかしいと思う。八川小は借金の返済も始まっていない。この案件は1月以降にじっくり時間をかけてお話いただきたい。</li> </ul>
堀谷課長	<p>②町長所信表明並びに提案理由説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P5（世界農業遺産・日本農業遺産）については、2月頃には結果が発表される予定。</li> <li>・P8の下（芸術文化活動）は「絲原氏庭園を楽しむ会」「仁王像プロジェクト」をはじめ様々な活動を行っているまた横田高校演劇・放送部の活躍などあり。</li> <li>・P12では、（ふるさと納税）では、ガバメントクラウドファンディングで202</li> </ul>

	<p>0 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ交流や施設改修費用を目標金額150万円として取り組んだ。</p> <p>*質疑、意見なし</p>
塔村教育長	<p>③平成30年度一般会計補正予算（第5号）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン設置について。町の補正予算のタイムスケジュール、全国的に緊急的な補正予算ということで、子供たちが普段生活をする普通教室にエアコンを設置。起債は、補助がついた部分に充当可能。</li> </ul>
堀谷課長	*課該当箇所について説明
永瀬課長	*課該当箇所について説明
塔村教育長	・エアコンについては最終的には減額を予定。
福田委員	・町の負担はどうなるのか。
塔村教育長	*制度について説明（原則、国は3分の1負担）
塔村教育長	<p>※一般質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P1の川西議員、1保育料無償化ですが、奥出雲町も色々な施策を行っている中で、試算をすると町の負担は減るだろうと答弁している。</li> </ul>
谷尻委員	・副食費と保育料は出させるのか。
塔村教育長	・副食費と保育料は出させる。幼稚園もそうだからという理由。
谷尻委員	・国は全てを認定こども園にしたいのでは？私は絶対反対。
塔村教育長	・2エアコンについて。来年夏に間に合うように工期を組みたい。学校にも、工事期間は他教室で授業してもらうなど対応をお願いする予定。
塔村教育長	・3ご覧のとおり教職員働き方についての質問。
谷尻委員	・奥出雲町はタイムカードを導入しているか。
塔村教育長	・学校現場は導入に消極的な模様。私としては学校で判断をしてほしいと思っている。幼稚園にも要望あり。役場は来年導入予定。

- ・ 4 三成小移転についての質問は、最初は「移転の根拠がない」「中学校の体育館を小学生が使うのはサイズの合わない服を着せられることだ」というような話でしたが、最後は「もっとお金をかけるべきだ」というような話になった。
- ・ 5 放課後児童クラブの料金についての質問は、数の拾い方もあり、年間で考えたとき奥出雲町は決して高くなくむしろ安いほうだ、というような答弁をした。
- ・ 6 待機児童に件ですが、全員第1希望に入れていないという意味かと思いますが、町では1から第3希望までで調整している。
- ・ P 9 3 ホストタウンについて。こちらはインドチームがオリンピック出場を決定すれば契約をするという状況。
- ・ 4 ホストタウンに認定されているのですが、共生社会ホストタウンという制度の活用について、現状困難であると回答。
- ・ P 1 5 内田雅人議員の1番目、地元消費率アップのためにとの質問。地産地消率はアップしておりますが、パーセントだけを追うのではなく、この取り組みを後退せずに続けることが大切だということを回答。
- ・ P 1 8 4 田食道弘議員の文化財調査資料保存について。現在の保管状況を把握していきたい。
- ・ 5 しまね留学の高校生対応について。下宿先募集をしていますがいない状況。寮の定員も限られるなか、来年は過去最高の人数の希望者が見込まれる。第2の寮について検討中。

\*質疑終了

《その他諸連絡》

- ・ 1月定例会の日程について（1月23日（水）午後4時00分で決定）

（定例会終了）

会 議 録 署 名

福田 充雄

塔村 俊介